

セックスレスでも



タマシイをニューブレンドして、現世で生まれ変わる方法
そして子宮（地球？）ケア、
今までにない妊活の本としてもお読み頂けます！

ワクワクを求めて

「日本だけでも多くの事例を聞くようになりました」（池川）
「この子は夫婦関係なしに子宮に宿ったのです」（咲弥）

どんどん子宮にやってくる

えっ、そんなばかな！ マリア受胎と同じですか？

マリア様がいらっしゃる？！

それで生まれた子どもはいつたいどんな大人に育つんでしょう

ふしぎな子どもたち



池川明

産婦人科池川クリニック 院長

咲弥

神津島 まぎくず あーす 女将



Part 1

セックスストレスでもわくわくを求めて 子どもたちはどんどん子宮にやって来る!?

- 17 「胎内記憶」大セッションのはじまり、はじまり
- 20 「潰される。出されちゃう」ちよつとタイヘンだった私（咲弥）のバーストラウマ
- 26 前の星ではテレポーターションみたいに、瞬時にパンパン移動して遊んでいました
- 29 宇宙学校で一番最後に学ぶむずかしいこと、それは「平和」です！
- 32 つらかった分と同じだけの幸せがいっぱいある!?
- 34 30代で死ぬかなと思っていたときに、まぐわいなしで突然子供を授かる!?

- 40 妊娠する3年前に「行くから」と言われていた!?
- 42 お腹の娘が必要なものは全部持ってきてくれた!?
- 47 瞑想の中にあらわれた女の人から産着を着た男の子を渡される!?
- 50 どこで入ったんだろう!?! 宇宙人の子かも……と
- 53 さらに2人の赤ちゃんの魂がやって来て約束させられちゃったこと……
- 54 夫婦関係がなくて生まれてきた子は旦那さんにそっくり!?! こんな事例が実はいっぱいある!?
- 58 これは前兆か!?! これから人間も単為生殖になっていく……
- 60 はたからはげんかにもみえても夫婦間ではそれが幸せだったりする……
- 63 Q & A … 2人とも子どもはエレベーターでやって来た!?
- 65 Q & A … やって来ない子ども魂とお母さんをつなぐ仕事
- 68 Q & A … 魂は発する音がそれぞれ違う命の音を奏でている……
- 70 Q & A … 宇宙人と地球人と神様はこんなふうには違っている
- 74 Q & A … 「ママ、行くね」と言われてけっきょく来なかった/こんなこともよくあります!
- 76 Q & A … むこうの世界とこっちの世界で時間の感覚がだいぶ違う

Part 2

79 Q & A .. 1人のお母さんに生まれたがっている1万人の赤ちゃんが待機している!?

82 Q & A .. 子どもの魂は完璧過ぎる親は選ばない、選ぶ必要がない!

86 Q & A .. お父さんはお母さんファンクラブのNo.1、

それでは不足ということ No.2で子どもたちがやって来る!?

89 Q & A .. おりてくるときに感じた重力の重さがいまだにあって、時々幽体離脱することも……

93 Q & A .. おなかの中で重さに耐えられなくなったら、5次元子宮に避難できるようになった!?

96 Q & A .. 6歳の娘が突然、「私は神の子、ママと宇宙の仕事をするために地球に来た」と……

私は魂を書き換え、ニューブレンドして

今世ですでに4回生まれ変わっています!?

地球人はなぜデフォルトしてしまったのか!?

108

私は宇宙人スイッチをオフにして地球人としてヘビーな体験を味わうために来たのです！

III

サアラさんも土星の役割を言っていた！ 二人の魂のふるさとは一緒かもしれません！

II6

宇宙は愛でできているというけど、愛とは何かはよくわからない……

120

宇宙人は死ななくてもステージが変わる／地球人はそれを死と言い、悪いことと見なしてしまう

124

魂のニューブレンド／私は中身を変えて今回の人生ですでに4回生まれ変わっている！？

128

魂を入れかえると、またフル充電が可能になる！？

131

子宮は地球そのもの、なぜ子宮に話しかけないの!?

132

光の種を持つ子どもたちを守ってほしいという指令を夢で繰り返し見た……

138

子宮には子宮の独立した意識があり、お母さんの意識とは違っている!?

144

星待ち／自分の生まれたい星座を待って生まれて来る!?

148

子宮をゴミため場にしない／子宮のケアの仕方を具体的に

150

夫婦げんかもわかり合うためのコミュニケーション

153 地球をインドだと思えばいい／好きな人は何度も行くが、嫌いなら二度と行かない

157 **これが咲弥流妊活術**

158 闇止^{ぐみや}みの魔法／「殺してやろうか」という殺意も認めることで消えていく……

164 闇の役割を人に任せて「私は光です」ではなく全部を引き受けて生きる

167 嫌いなものも愛して受けとめる／これが愛のテーマの大学院レベル

170 魂のフィルターによって神様のエリアもバラバラ、いろいろある……

173 不幸の依存症!? 幸せになりたければ、とにかく「気楽な姿勢」がベスト

175 イヤなことを書き留めるほどおカネになる!?／「シャドー・アンド・ライト・ノート」の効用

181 不妊治療者のところに子どもが行きにくい理由

185 生まれ出た後からでもミッションは変えられる!

186

自分でダウン症をやめちゃった赤ちゃんがいる!?

190

障害も実は高機能なボディースーツだったりする

196

行くと決めたのはあなたです／不幸な状況に生まれるのも計画のうち

199

この世レベルではとんでもなくても、魂レベルでは「殺す・殺される」が好きで戦争ランドへ来ている!?

201

+極限の醜さ／ホロコーストの中でさえ感じる幸せというものがある!?

204

脇役でもうれしい人、主人公でないとイヤな人、その人それぞれの理念が幸せをみちびく!

209

どこへ行っても痛い経験ができる「たたかれるランド」とは?

217

医療の世界は「超攻撃ランド」!?

218

ワクチンを打つか打たないか／あなたならどうする?

223

あの真弓先生が体温の低い子は打たなきゃダメだと……

227

医療は最高にいい稼ぎ場所!? 訴訟で見えてくる「不幸の連鎖の拡大」

この惑星の何という3次元意識の世界／

制限だらけだもの、こりゃあ魂は生きにくいよ！

こんなイヤな経験も自分でセットアップしたのだから……

「胎内記憶」が広辞苑に載るのを目標にしよう！

子どもの成長のためにお母さんをやっているのです、できないお母さんは子どもに最高にいい

Part 1

セックスレスでも
わくわくを求めて
子どもたちはどんどん子宮に
やって来る!?



さくや
咲弥

神津島リゾートハウス
「まご〜ずあーず」女将。



いけがわあきら
池川明

「池川クリニック」院長。
医学博士。

咲弥ファミリー



あきら

一家の頼もしいサポート役。
咲弥さんとは、
友人やパートナーをこえた
信頼関係。
血のつながりこそないもの
の、子どもたちと仲よし。



長男

「不思議な妊娠」によって
やってきた男の子。
8歳の小学生。
大人びた雰囲気と
シャイな性格をあわせもつ。



長女

こちらは通常(?)妊娠で
生まれた女の子。1歳。
咲弥さんいわく、
「彼女に願いごとをいうとかなう」
ジンクスあり!?

さあ、いよいよ池川先生×咲弥さんによる
スペシャル・トークのはじまりです。
2018年3月、映画「かみさまとのやくそく」上映会とあわせて
行われた本イベントは、おかげさまで大盛況となりました。
(「」来場くださった皆さん、ありがとうございましたー)
臨場感たつぷりの「ぶつとび対談」、
ぜひともお楽しみいただけましたらと思います。



うっ
うっ
うっ

初・司会にドキドキ!

「胎内記憶」大セッションのはじまり、はじまり

司会 ご紹介いたします。

産婦人科「池川クリニック」院長の池川明先生、それから、はるばる神津島こうづしまからやってきてくださいましたリトリートハウス「まぎくずあーす」女将の咲弥さんです。（拍手）

先生方のお話の前に、いま皆さんにござんいただきました映画「かみさまとのおやくそく」をお撮りになりました萩久保則男おぎくぼのりお監督にいらしていただいております。せっかくなので、監督、ひと言よろしいですか。

萩久保 最後までご覧いただきまして、ありがとうございます。

池川先生が2000年ぐらいから本当にお1人で孤軍奮闘されながら胎内記憶たいないきおく

をずっと広げてきてくださって、いま赤ちゃんがお腹に宿った方は、ほとんど話しかけてくださるようになって……日本がこれから「絶対よくなる」ということを確信しています。

本当にありがとうございます。(拍手)

司会 監督、ありがとうございます。

このあと、いよいよトークショーに入らせていただきますが……。

事前打ち合わせ一切なしですので、どんなぶっ飛びトークになるのか!? (笑)
とても楽しみです。池川先生は講演会の大ベテランでいらっしやいますので、

ぜひ、先生のリードでお願いできましたらと思います。

池川 咲弥さん、どうぞよろしくお願いいたします。

咲弥 お願いします。

池川 咲弥さんとは、はじめまして……。

咲弥 じゃないんですよ (笑)。

池川 えっ、どこでお会いしましたか？

咲弥 4年くらい前、逗子で「かみさまとのやくそく」上映会があったときに、スタッフとしてお手伝いに行っただんです。で、いちばん後ろの席にすわって。

映画館みたいな、すごく広い会場でした。

池川 なぎさホールですか？

咲弥 はい。それで「この中に、大人になっても胎内記憶のあるひと」と先生が仰って、手を挙げたら私しかいなくて……壇上に呼ばれて、

監督と3人でお話をさせていただいたんです。

池川 あっ、あのときの……！

すっかり忘れていました（笑）。失礼いたしました。

きょう、あらためて咲弥さんのプロフィールを読ませていただいたら、むちゃくちゃすごい人生で……人の何生分かを1人で経験しちゃった、みたいな（笑）。

咲弥 ふり返ると、この人生で「なんども輪廻転生しているなあ」みたいな感覚があった。

池川 一生で10回分ぐらい人生をやってる、みたいな（笑）。楽しそうですね。

咲弥 疲れます（笑）。

池川 ジェットコースターに乗りまくった……みたいな（笑）。

もしよかったら、咲弥さんの胎内記憶を、いま一度お話しただけませんか。

「潰される。出されちゃう」ちょっとタイヘンだった

私（咲弥）のバーストラウマ

咲弥 私の胎内記憶はあまり幸せなものではなくて、

母が妊娠中毒症で、妊娠2ヶ月目ぐらいからずっと吐き続けていて、

まわりが「母体が危険なのでおろしたほうがいい」と言うような状況の中で、

母は「なんとか、産みたい」と言っていたんです。その中で……とにかく、私に子宮がずっと迫ってくる。収縮して押し出されるといいう圧迫感があつて、3歳ぐらいいまでは夜「キヤーツ」と泣き叫んで「潰つぶされる、出されちゃう」という恐怖

感がありました。

池川 その、圧迫感を覚えていたから。

咲弥 そうなんです。「壁」が迫ってくる感覚が、すごくあって。

砂嵐みたいな感じで、圧迫されて、とても苦しい。

それで、夜中に泣き叫ぶことが続きました。

そのあとに、もろもろのことで胎内記憶を思い出していくことになって……。

池川 それは、自然に思い出していくんですか。

咲弥 パニック障害と不眠症になったんです。

そのときに「眠れるCD（おなかの中で聞いた心音といっしょに、癒しの音楽がかかるといふもの）」をかけて寝たら……聞いて1分もたたないうちに、

「出されちゃう！」というパニックと共に、

いろんなことが走馬灯そうまとうのように蘇よみがえって。

中間世の記憶というか……生まれる前に、いた場所があって。

私、人間は今回はじめてなんです。

池川 えっ、いままで宇宙人をやっていたんですか……!!

ようこそ、地球へ。

咲弥 だから（地球のことを）知らなくて、

挑戦したいことがいろいろあったんですよ。

池川 めずらしいものばかりで。

咲弥 「あれもやる、これもやる」と、計画をつめ込みすぎちゃったんですね。

だから、人生大変なんです（笑）。

それで、生まれるときはエレベーターのようなものでおりてきました。

池川 ふつう、そこは「滑り台」とか「虹を伝っておりてきた」とかいふところなんです、電化されていますね（笑）。エスカレーターという子は1人いましたけど、エレベーターは、はじめてです。

咲弥 おりてくるとき、いろんな周波数の帯域があって、そこを抜けてきたんですけど……いまも、体から抜けるときに（ゆうたいりだつ 幽体離脱）周波数を感じるんです。

池川 段階を経て、抜けていくんですか。

咲弥 はい。でも、集合意識というか……地球の「重い」帯域に来たとき、

いままで感じたことのない不快感と圧迫感を感じて。深海に沈んでいくときにキュッと圧迫される感じで「私は帰りたい。人間に生まれるのはムリだ。やめよう。感情を感じることに、体に入ることがこんなに苦痛なんだとしたら……計画はこなせない」と思ったのです。

池川 そもそも、どうして地球を選ぼうと思ったんですか。

咲弥 おもしろそうだから。あとは、地球での課題もありました。

池川 地球という「わくわくランド」を狙^{ねら}ってきて、

でも、いざ来てみたら「私にはちょっと……」と。

咲弥 ハードルが高過ぎたんです(笑)。

池川 成人向きだったかな？ みたいな(笑)。

咲弥 好奇心旺盛^{おうせい}でしたから。

でも、「ムリだ、もどろろ」と思ったら、ゲートが閉じてしまって。

帰れなくて……イヤでも、おなかの中に行くしかないですよ。

いま考えると、それも計画の一部ではあったのですが。

池川 きついですね。ドラマを見てるみたい。

咲弥 そのときは、母も拒絶反応というか……6ヶ月の時点で「おろしたい」と言ったそうなのですが、

お医者さんから「もうムリなので、あとちょっと頑張って」と言われて。

母も諦めざるを得ない中で、私も諦めて入っていった。

たぶん、これがバーストラウマなんです。

「魂」の段階ですごく絶望しているんですよ。

池川 生まれる前から絶望。きついですねえ。

咲弥 助けてくれる人はいないし、この感覚をわかってくれる人はいないし、帰れないし、行くところはないし、つながりを絶たれちゃった……とあって、仕方なく。

「行くしかないけど、行ったら地獄」みたいな感じで。

池川 お母さんの中は地獄だったんですね。

咲弥 それが、バーストラウマとして残っていて……絶望とパニックで、

宇宙空間に放り出された、みたいな。

池川 地球におりてくるときの重たい感じは、地球そのものが重いんですか。

それとも、お母さんが重いんですか。

咲弥 地球そのものが、重たかったです。

池川 そうすると……別のお母さんだったとしても、同じような感覚だったかも
しれませんね。

咲弥 どうなんでしょう……でも、計画として(うちの)母である必要があ
ったのだと思います。

ところで、私は「体から抜ける」ことがよくあつて。

大人になってからの記憶だと……ある日、眠っていたときに「抜けた」んです。
で、抜けながら……体が、トイレに行きたくなつたんです。

池川 体から抜けているのに。

咲弥 そう。体から出ちゃっているんですけれども、トイレに行きたくなつて

「間に合わない、急いで戻らなきゃ!」と思った。

あるところまでは「スッ」といけるんですけど、周波数の重たい領域とか……肉体に近づくにつれ「ドン、ドン、ガガガガッ、ドン!」と迫せまってくる感じで。体に戻った瞬間、ベッドから「バン!」と飛び上がったんです。着地に失敗して「夜中に地震?」みたいな感じで。あわてて、トイレに走っていききました。そういう感じで、体に入ってくること自体が、魂からしたら「重い」。重力を感じることに「重い」ということなんです。

前の星ではテレポーションみたいに、
瞬時にパンパン移動して遊んでいました

池川 ちなみに、地球に来るまでは、どちらにおられたんですか。

咲弥 覚えている限りでは、重力が地球の何分の一くらいかの……星です。

つまさき立ちで立てるくらいにフワフワしていて……いちおう、物質ではあるんですけど。いまの、私たちみたいなはっきりした体ではなくて、透けて見えるような感じでした。

空も、グラデーションで淡いピンクとか、パステルカラーがすごくきれいで。天気も密度が低くて、霧がかかった中に白い太陽が出て、月も同時に出ていたり……。星が、2つ一緒に出ていたりもしました。ラベンダーの香りが漂っていましたね。

時間の感覚がなくて、天候が荒れたりしないんです。

いつも穏やかで……たぶん、そこに飽きたんでしょうね。

池川 人はたくさん住んでいたんですか。

咲弥 いろんなところから、いろんな人たちが来ていました。

ほかの星から来る人もいて……ただ、「たくさん」という感じではないです。

テレポーションみたいに、瞬時にパンパンと移動してるような。

池川 さいきん「久しぶりに地球人になった」という方とよくお会いするんです。

で、「なんで歩いて移動しなきゃいけないのか、意味がわからない」とか言っている（笑）。

「壁があっても、突き抜けられるはずなのに、（地球では）それができない。意味がわからない」と（笑）。

咲弥 わかります。私もすごく悩んで、物によくぶつかっていました。

いまでもぶつかるんですけれど（笑）。

池川 空を飛ぼうと思いませんでしたか。

咲弥 思いました！ 小さいころは、よく飛ぶ夢を見ていましたね。

池川 やっぱ宇宙人ですね。ほかの人の体験談と、だいたい共通しています。

咲弥 「（地球にくる前は）飛んでたんだし、できるはず！」と思って。

池川 お仲間はたくさんいますよ。

咲弥 よかった。

宇宙学校で一番最後に学ぶむずかしいこと、それは「平和」です！

宇宙学校で一番最後に学ぶむずかしいこと、それは「平和」です！

池川 きのう、久留米くろめに行ったさい、

10歳の男の子が「夜、寝ているときに宇宙学校に行っているんだ」と言うんです。「宇宙学校6年生」と言っていました。10年で卒業、だそうです。

そこで最後に習うのが「平和」なんです。そして、「平和が一番むずかしい」と。その子に「平和ってどういうこと？」と聞いたら「まだ習ってないからわかんない」と返ってきました。

もうひとり、9歳の女の子がいて「火星の記憶がある」んです。

「火星ってどんなところ？」と聞いたら「草がいっぱい。木もあって、動物もいて、地球とおんなじようなところ。海はなかったけど、川がいっぱいあって、ものす

ごくいいところ。でも、戦争が2回あって、火星は滅びちゃった。そのときに死んじゃった人と、地下に潜^{もぐ}って逃げている人がいて……いまでも地下にいると思うよ」と。

「えっ、いるんだ！」みたいなの。その子もやっぱり、

「争いがあるってそういうふうになっちゃったから、戦争はしちゃダメ」と言うので、「じゃ、平和ってどういうこと？」と聞いたのですが……やはり、答えられないんです。

どうでしょう、咲弥さんから見た……宇宙人から見た「平和」って何ですか？

咲弥 宇宙人からみた「平和」……。

池川 (さきほどの) グラデーションのかかった世界というのは、

そもそも「平和」なんですよね。

だから、「平和」ということすら意識していなくて……「平和」。

咲弥 「平和」という概念がない。

池川 そこにずっといると、退屈しちゃうんですね。そうするとやはり、

(さきほどの) 地球というところは魅力的なんでしょうか。

咲弥 はい、とても!!

池川 ちょうどカタログ……それこそ『地球の歩き方』みたいなのを読んで(笑)。

「こんなおもしろいところがあるんだ、楽しそう!」と。でも、いざ行ってみたらとんでもないところだった……そんなニュアンスでしょうか(笑)。

咲弥 たぶん、地球というものも「平和」のなかに入ると思うんですよ。

「平和」というものはすべて「調和」で、

そのなかには破壊とか戦争も含まれます。

つまり、陰陽すべてのものが含まれるんですね。

経験をするためにはつらいこともあります。「平和」ってどういうものなんだろう? って……やっぱり、戦争がないと考えないじゃないですか。

だから、「理解するための」経験として(時に)つらいこともおこるのだと思います。

つらかった分と同じだけの幸せがいっぱいある!?

池川 咲弥さんの過去はものすごく大変ですけれど……：……いまのお話からすると「ぜんぶで調和がとれている」というか「大変なことと同じくらい、幸せがいっぱい」ということなのでしょうか。

咲弥 そうですね。大変でしたが、得たものは大きかったです。

「魂」という目線で見たときに、そう気づくことができました。

池川 いま、人生がづらいと感じている方にとつて、^{かた}すごく励みになる体験ですよね。

「こんなにつらかったぶん、きっといいことがあるよ」と言ってあげられる気もします。

それは、いまわからなくても……。

咲弥 そうですね。つらい経験は後々、大きなギフトになります。

池川 渦中にいるときは、幸せと思えませんからね。

咲弥 思えないですし、大変なときは大変じゃないと、困る。

池川 つらさにも「どっぷり」浸からないといけないんですね。そうすると、幸せにも「どっぷり」浸かれる、と。

不幸が中途半端だと（笑）幸せも中途半端。

すべて「陰陽のバランスだから」ということで考えていいんですね。

咲弥 はい。「魂」は、あらゆる経験を望んでいますから。

池川 人生の指標がひとつ、出てきたような気がしますね。

30代で死ぬかなと思っていたときに、
まぐわいなしで突然子供を授かる!?

池川 ここでカンタンに、自己紹介をします。

私は産婦人科医です。さきほどの映画にも出演してまして……あつ、そういえばこの前、渋谷の映画館から出てきた人が私をみつめて「あれっ、どこかで……。どちらさまでしたっけ？」と言う（笑）。すかさずお連れさんが「さっきの映画に出てたじゃない」と言っつて「あつ、ホントだ！」なんてこともありました（会場爆笑）。

咲弥 私は「カンタンに」自己紹介するのは、むつかしいんですけれど……（笑）。

池川 波瀾はらんばんじょう万丈まんじょうでしたもんね。ちょっと刺激が強いので、オブラートにつつんだ形で。